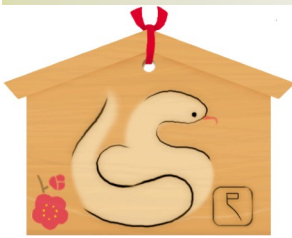


会社名

山雲水月

発行責任者 仁叟寺 住職 渡辺啓司

平成25年 住職年頭挨拶 賀正



癸巳

昨年は当寺にとって一つの節目ともなる大きな行事が次々と開催されました。関係各位及び檀信徒の皆様方のご尽力をいただき、全て無事、盛会裏に行うことが出来ました事に感謝いたします。

また、群馬県總和会長として二期目に入ります。大本山總持寺をはじめとして、関東地区等の大会・慶弔会や会議等、一つ一つ丁寧に勤めていくつもりであります。

生み育ててくれた父母に、又ご先祖様に感謝と誇りをお持ちいただき、歴史ある菩提寺・仁叟寺護持に変わらぬご協力を賜りたく、宜しく願い申し上げます。御本尊様、仏菩薩様のご加護を頂戴して、皆様方の、家内安全・身体健勝・萬福多幸を心より祈念いたします。



↑大授戒會中に導師を勤める住職

平成25年 仁叟寺年間行事予定

- 1/1~1/3 年頭祈禱・年賀受
- 1/4~1/7 年始挨拶
- 1/10 年賀寺例
- 2/3 大節分会
- 2/15 釈尊涅槃会
- 3/10 大般若会大施食会法要
- 3月中旬 筆供養法要
- 3/17~3/23 春季彼岸会
- 4/8 釈尊降誕会(花祭り)
- 7/13~7/16 新曆孟蘭盆会
京浜地区檀信徒棚経
- 7月下旬(一泊二日)
第32回子供禪の集い
- 8/10 中元寺例
- 8/13~8/16 孟蘭盆会
- 9/20~9/24 秋季彼岸会
- 10/19 檀信徒研修参拜旅行
- 12/8 釈尊成道会
- 12/10 歳暮寺例
- 12/31 除夜会

- ※毎週土・日曜日 書道教室
- ※毎週水曜日 定例坐禅会
- ※隔週水曜日
梅花講・琴教室・華道教室
- ※宗務所執務日は月水金曜

平成25年 年回表

一周忌	平成二十四年	二十三回忌	平成三年
三回忌	平成二十三年	二十七回忌	昭和六十二年
七回忌	平成十九年	三十三回忌	昭和五十六年
十三回忌	平成十三年	五十回忌	昭和三十九年
十七回忌	平成九年	百回忌	大正三年

※1 以上、各ご家庭に於いてご確認下さい。
 ※2 該当檀信徒各家には封書にて通知が届きます。
 (但し、五十回忌・百回忌を除く)

群馬県曹洞宗青年会主催大授戒會、無事圓成！

広報ほか文書などで御案内申し上げましたとおり、昨年10月17日より21日の5日間に亘りまして「大授戒會」が仁叟寺にて修行されました。主催は、群馬県曹洞宗青年会（会長・山端耕之師）で、創立50周年を記念して開催いたしました。ほか、同会では50周年事業として劇団四季を招聘してのチャリティミュージカルを5月に、記念祝賀会を11月にそれぞれ開催いたしました。なお、チャリティミュージカルの収益と県内各所にての数回に及ぶ托鉢の浄財は、昨年9月の研修旅行にて、被災地東北三県の各青年会に支援金としてお渡しいたしました。

大授戒會では、大本山總持寺貫首江川辰三禪師猥下が戒師及び東日本大震災物故者供養法要導師をお勤めになり、ほか三師と呼ばれる重要なお役の教授師を沼田市迦葉山山主羽仁素道老師、引請師を当山住職渡辺啓司老師が勤めました。また説戒師は太田市金龍寺青木龍峰老師が、青年会会員物故者供養法要を大本山總持寺副貫首石附

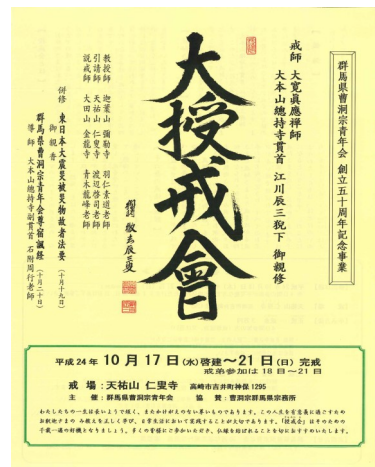
周行老師がお勤めになられ、県内御寺院様諸老師及び青年会会員諸師約70名と共に、大法会を修行いたしました。

正戒参加者は約70名。亡戒参加者約200霊、寺族得度者25名が、今法要に於いて、ありがたい法縁を結ばせていただきました事、感謝申し上げます。



戒師 大寛眞應禪師
大本山總持寺貫首 江川辰三猥下

当山では、同じく群馬県曹洞宗青年会30周年の際に修行されてから20年振りとなる大法要でございました。江川禪師猥下始め多数の方々をお迎えする法要であり、当山では本堂裏廊下の整備、須彌壇改修、坐禅堂畳替等等準備に向けて山内の整備をさせていただきました。参加されました戒弟様お手伝いいただきました当山梅花講員様はじめ、関係各位には改めましてお慶びとご慰勞を申し上げる次第です。



↑ 大授戒會ポスター



引請師
渡辺啓司老師

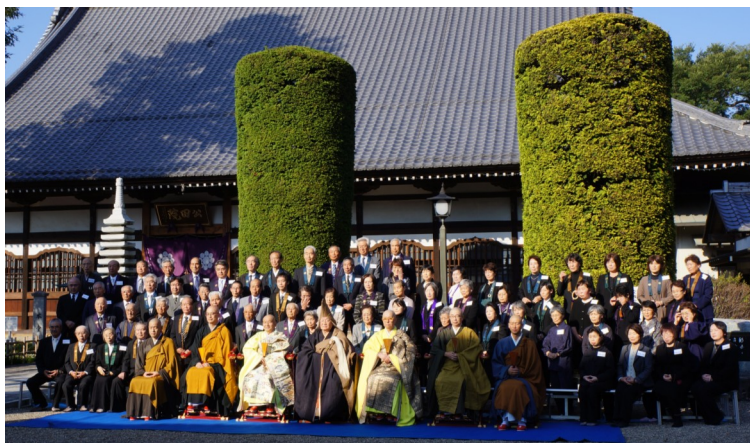


教授師
羽仁素道老師



説戒師
青木龍峰老師

↓ 法会を主催した群曹青会員諸師



↑ 参加された戒弟の皆様方と



群馬県曹洞宗青年会創立50周年記念事業 大本山總持寺貫首 江川辰三猥下御親修 大授戒會
平成24年10月17日啓建～10月21日完成 戒場 高崎市仁叟寺

本尊釈迦三尊修復開眼会法要他仏像展 無事圓成



導師・曹洞宗宗務総長
佐々木孝一老師

昨年9月17日に、曹洞宗宗務総長・佐々木孝一老師大導師のもと当山御本尊釈迦三尊像ほか諸仏像修復開眼会法要が修行されました。佐々木老師はじめ県内外40名の諸老師のほか、檀信徒およそ200名を超える方々がご参集下さり、同式は盛会裏に無事圓成することが出来ました。改めまして、厚く御礼申し上げます。

この度の修復開眼会法要は、平成15年よりコツコツと始めさせていただいておりました仁叟寺の諸仏像の修復事業の集大成ともいえる法会でした。15体の仏像他尊像の修復開眼を勤め、特に檀信徒の皆様方に於かれましては、本尊釈迦三尊修復事業にご理解ご協力を賜りましたこと、ありがたく思っております。

また、15体の仏像の内6体が高崎市指定重要文化財という事もあり、寺院の宝である事は勿論、地域の大切な文化財という趣旨もあり、仁叟寺護持会主催にて、引き続き「仁叟寺仏像展」を17日の修復開眼会法要後より23日の一週間に亘り開催いたしました。

高崎市教育委員会、上毛新聞社、吉井町仏教会も後援としてご協力いただき、秋彼岸会には約800名の方々がご参拝に訪れて下さいました。同展に於きましては、仁叟寺総代人・世話人の方々が持ち回りでお手伝いに来て下さり、開眼会法要と同様に盛会裏に勤めることが出来ました。

檀信徒の皆様方に於かれましては、全檀信徒約99%の方々より貴重な浄財を頂戴いたしました。ご協力いただきました方には、修復の経緯を克明に記した冊子のほか記念品を用意しております。当山より引換券をご送付申し上げましたが、まだお手許にない方は、修復し一新されましたご本尊様に参拝していただき、記念品ほかを受け取っていただければと思います。宜しくお願ひ申し上げます。

↓法要の一齣（当日はおよそ200名を超える檀信徒の皆様がご参集下さいました）



- 仁叟寺仏像展 展示尊像
- ① 迦葉尊者立像(江戸時代・高崎市指定重要文化財)
 - ② 本尊釈迦如来坐像(室町時代・高崎市指定重要文化財)
 - ③ 阿難尊者立像(江戸時代・高崎市指定重要文化財)
 - ④ 文殊菩薩坐像(江戸時代)坐禅堂本尊
 - ⑤ 阿彌陀如来立像(江戸時代天明年間)風善堂本尊
 - ⑥ 宇賀弁財天像・厨子入(江戸時代)庫裏守護
 - ⑦ 毘沙門天像(江戸時代)庫裏本尊
 - ⑧ 聖観世音菩薩立像(室町時代・高崎市指定重要文化財)
 - ⑨ 十一面観世音菩薩立像(室町時代・高崎市指定重要文化財)
 - ⑩ 妙見菩薩立像・厨子入(江戸時代)庫裏守護



→ 参拝者に配布いたしました資料

仁叟寺仏像展

本尊釈迦三尊像修復記念

高崎市指定重要文化財他の修復された諸尊像が拝仏できます

2012年
日時 9月17日(月)～23日(日) 午後10:00～午後4:00

会場 仁叟寺本堂
〒370-2123 群馬県高崎市吉井町神保1295

■主催 仁叟寺護持会
■後援 高崎市教育委員会 吉井町仏教会 上毛新聞社

参拝研修旅行 ～大本山總持寺御礼拜登～



大本山總持寺御拝問檀信徒参拝研修旅行 平成24年10月27日

秋の檀信徒研修旅行が10月27日に開催されました。毎年、10月の第三土曜日に開催しておりますが、今回は「大授戒會」が当山にて修行されましたので、第四土曜日に変更となりました。

今回は、大本山總持寺様へ、大授戒會の御礼を兼ね研修参拝をさせていただきました。参加者は50名ほどでしたが、大授戒會に参加されました仁叟寺檀信徒の皆様方は、全て参加されました。

大本山總持寺様では、ご多忙中にも関わらず、江川辰三禅師猊下が見えられ、紫雲臺相見の間にて参加者へご垂示賜る貴重

な法縁をいただきました。また、大本山總持寺監院乙川暎元老師もその場に見えられ、禅師様と共に記念写真もご一緒することが出来ました。謹んで御礼申し上げます。ありがとうございました。

参拝の後、大本山總持寺三松閣にて精進料理のお膳で点心(昼食)をいただき、平間寺様(川崎大師)、高岩寺様(とげぬき地蔵)へも伺い、参拝申し上げます。特に、とげぬき地蔵様に於かれましては、同じ洞門ということもあり、住職様より過分な展待をいただき、且つまた参加者一人一人にお土産を頂戴いたしました。来馬住職様は医師でもあり、禁煙運動の先駆けをつとめ、広く活躍をされております。境内は勿論、とげぬき地蔵門前の商店街も全て禁煙になっておりますのも、住職様のなみなならぬご尽力もあつたと伺いました。

この度の研修旅行も多数の方々にご参加くださいました。秋の恒例の寺院行事となつて下さいます同旅行に、まだ参加されておられない方は、是非ご参加いただきたく思います。

仁叟寺探索27 ～座敷牢～

今回の探索では、当寺本堂の「座敷牢」を紹介します。

お寺に牢屋、一見不思議な組み合わせですが、仁叟寺には本堂方丈の間の二階に座敷牢があります。寺伝によると、仁叟寺寺領は古くより聖域であり、それゆえ軽微な罪を犯した方や免罪と思しき方が、住職に助けを求めて駆け込んで来ることがあり、その際に使用されたと言われております。住職の判断により、座敷牢に入れ、反省し更生が認められるようであれば、裏の竹藪から逃がしたとも伝えられています。文字通り、駆け込み寺ですが、近世・江戸時代に入り神社仏閣が寺社奉行の管轄に移行すると、座敷牢が使用される事はなくなったようです。

中世のアジュールの名残というべき場所ですが、仁叟寺が火災戦災に遭うことがなく今に続いておりますので、中世往時の貴重な遺構が遺されていると言えます。座敷牢のある群馬県内の寺院は、縁切り寺で有名な満徳寺(太田市)と当山とで二ヶ寺と言われております。歴史を今に伝える貴重な遺跡であると言えます。

→ 本堂・方丈の間



自らを洲とする～東日本大震災被災地支援報告

宮城県七ヶ浜にて慰霊法要



↑宮城県七ヶ浜町 養松院様

→
今なお復旧が望ま
れる津波の爪痕が遺る
門前



去る11月1日に、副住職が大本山總持寺修行時代の同安居の縁のある寺院、宮城県七ヶ浜町の養松院様に伺い、同安居有志と共に東日本被災物故者慰霊法要を修行させていただきました。養松院様の副住職は、津波に車ごと流されましたが、九死に一生、無事自力で脱出することが出来たそうです。

参加された同安居の中には、岩手県山田町より見えられた宗侶長嶋師もあり、彼の副住職地はほぼ全ての伽藍が流されたとのこと。慰霊法要前日の10月31日には、同安居会即眞会（会長・野口達朗師）の総会も開催され、その席上にて、被災状況や今後の展望などの報告を伺う機会にも恵まれました。慰霊法要では、長嶋師が流された後に偶然に見つかったという「法螺貝」を吹き、のち読経諷経を勤めさせていただきました。

同じ時間を共に過ごした仲間が、今現在、復旧復興に向かって頑張っておられます。拙僧も出来る事を出来る範囲で勤めさせていただこうと思っております。

仁叟寺本堂ほか山内外諸々工事完了報告

仁叟寺本堂北側の増改築工事が、昨年秋に完了いたしました。本尊釈迦三尊修復開眼会法要、仁叟寺仏像展、大授戒會など多くの大行事が予定されており、その一環として新たに工事を進めて参りました。その経過等につきましては、前回の寺報でも紹介させていただいたとおりです。

本堂北側の増改築工事や、須彌壇（高崎市指定重要文化財）の補強工事、達磨大師・大権修理菩薩両坐像の台座工事等をいたしました。施工は、一昨年の本堂耐震補強工事等々でもお世話になりました渋川市白井の宮大工・堂宮入秀社寺建築株式会社（入内島秀男社長）に依頼いたしました。

ほか、坐禅堂の畳張替、本堂裏庭園の整備、山内電気工事、庫裏バリアフリー工事等々をさせていただき、山内外の整備をいたしました。木村電気様、榊原畳店様、上原建築様、黒澤造園様、吉井住設様ほか施工に当たられました業者の方々にはお世話になりました。

お陰様で、諸々の大行事も無事圓成出来ました。

茲にご報告申し上げます次第です。



ろうけつてい

↑本堂裏庭園「朧月亭」

↓\本堂北側に増設された回廊



総代長新年挨拶

新年明けましておめでとうございます

健やかな新年をお迎いの事と推察し、お慶び申し上げます。

昨年は、種々の大事業があり、檀信徒の皆様方には大変お世話になり、ご苦勞をお掛け致しました。

お陰様で諸事業が無事に成就できたことに、深く感謝申し上げます。

初秋のご本尊釈迦如来・脇尊二体他の修復開眼会法要は、曹洞宗宗務総長・全国總和会長佐々木孝一老大宗師をお迎えしての輝かしく、しかも荘厳な法要でした。檀信徒の長年の念願であり、立派に修復できた事は大変喜ばしい事業でした。ありがとうございました。

中秋に当寺で群馬県曹洞宗青年会主催の大授戒會が、曹洞宗大本山總持寺貫首江川辰三禪師猓下様のご来山をいただき、当山渡辺老師が引請師を務められ法縁を結ぶ機会でありその上、直接ご高話を賜る事が出来ました。庭園を散策される姿も、どこかありがたい雰囲気を持っておいででした。

秋の研修旅行は、諸々の御礼を兼ねて大本山總持寺様への研修参拝と、川崎大師・とげぬき地蔵への参詣でした。大本山様では、わざわざ江川辰三禪師猓下様、乙川暎元監院老師様がお出向き下され別室で御高話下さり、記念写真にまで御一緒に参加して下さいました。仏心で「仏様を拝む私が仏様」という禅問答の様な話

が浮かびました。これらは仁叟寺がそれだけの地位名籍を持っているの

だという事を感じざるを得ませんでした。

高岩寺様では、ご住職が医学博士であり、禁煙活動を地域と連帯して推進しており、また私達の送迎の接遇にも感心されました。多様な刺激を受けた研修でした。これら諸々の行事に参加することは、大変有意義でありました。

数々の大事業が無事に終了できたことも、皆様の御先祖様の尊崇と菩提寺護持の深い信心によるものと敬服いたします。

新年に当たり皆様方の益々の御健勝と菩提寺の隆興を祈念いたします。合掌。

平成25年癸巳元旦 仁叟寺總代人一同

(文責、總代長 井上正俊)



↑左) 筆者・井上正俊總代長
中) 住職 右) 江川禪師様

仁叟寺總代人一同

井上正俊	篠崎和男	新井徳衛
矢島正義	森 久	堀越兼一
神保堯男	橋爪 勝	酒井範明

行雲流水 (編集後記)

編集人 副住職 渡辺龍道

明けまして、おめでとうございます。昨年は、ご本尊様ほか諸仏尊像の修復開眼会法要・仏像展、群馬県曹洞宗青年会創立50周年記念・大授戒會等々、大きな行事が当山を舞台に修行されました。檀信徒はじめ関係各位に対し、改めまして御礼を申し上げます。

特に大授戒會に於きましては、大本山總持寺貫首・江川辰三禪師猓下が戒師として見えられ、有難い法縁を結ばせていただきました。当山にあります江川禪師様の書に「以春

風接人 以秋霜律己」との墨蹟があります。読んで字の如く、「人に接すること春風の如く、己を律すること秋霜の如し」です。なかなか実行は難しくありますが、年頭に当たり本年の目標として精進させていただく所存です。合掌。(龍)

→ 江川辰三禪師猓下墨蹟

